

Life (私ごと)

家事、子育て、趣味、親、etc

Work (しごと)

三井物産に入社 (1987年)

上場会社の社長 (2012年)

独立 (2016年)、現在は2社を経営

Social (社会ごと)

NPO法人ファザーリング・ジャパン 理事

(元)小中/PTA 会長

(現)PTAのOB会 会長

内閣府/男女共同専門委員

文科省/学校改善アドバイザー

こども家庭庁/創設アドバイザー

神奈川県/男女共同参画員

などを歴任

NPOとしての実例

子どもにとっての居場所となるために、
以下のことが可能な事業を行った

役に立っているという実感

達成感、成長実感

共通の目的をもった仲間

失敗を許容(心理的安全性)



日本のお米の消費量を増やすために、**小中学生**が、レシピ、デザイン、キャッチフレーズなどを、**1年間**かけて考案した「**お米のシューアイス**」を、全国ブランドの「**ヒロタ (HIROTA)**」が商品化。

同社で**過去最高**の売上げを達成。



NPO実例 地域の子どもが 商店街を活性化



客数の減少が続いている**商店街**を**活性化**させようという目的で、**地域の子ども**が集まり、お店を運営。

何を売るか、仕入れ、販売、当日の運営まで、**子ども**達が**中心**となり、大人はサポート役に。



学校が居場所になるために

まずは、教職員に「時間と心のゆとり」を

過労死ライン超えの長時間労働（教職員の7割以上？）
日本で最も多忙な業種の一つが、学校の教職員

結果、教職員志望者が減り、教師らは疲れ切り、
それはそのまま児童（生徒）たちへ悪影響を

学校がブラック職場に、その要因は多数ある

文科省
自治体

保護者
地域

旧式の
管理職

- ・仕事は増える一方(カリキュラムなど)
- ・止めない、減らさない体質
- ・学校に丸投げ、現場任せ



地域への参加、クレーム対応
行政への対応、保護者への対応

部活、行事、過密授業(更に増加)
膨大な調査・報告書、会議、日誌 etc



教職員の
長時間労働
メンタル不全



保護者(PTA)の参加を増やす、でもPTAの現状は

参加
したくない

保護
者



参加
できない

面白く無い、つまらない、やらされ感、義務感

減らす・止めるばかりで、新しい企画が少ない

「出来ない理由」ばかりで「出来る手段」を考えない

積極的な人が少ない、パパの参加は更に少ない

各々の都合が異なる(昼は不可、夜は不可、週末は不可)

参加を増やすためにやったこと

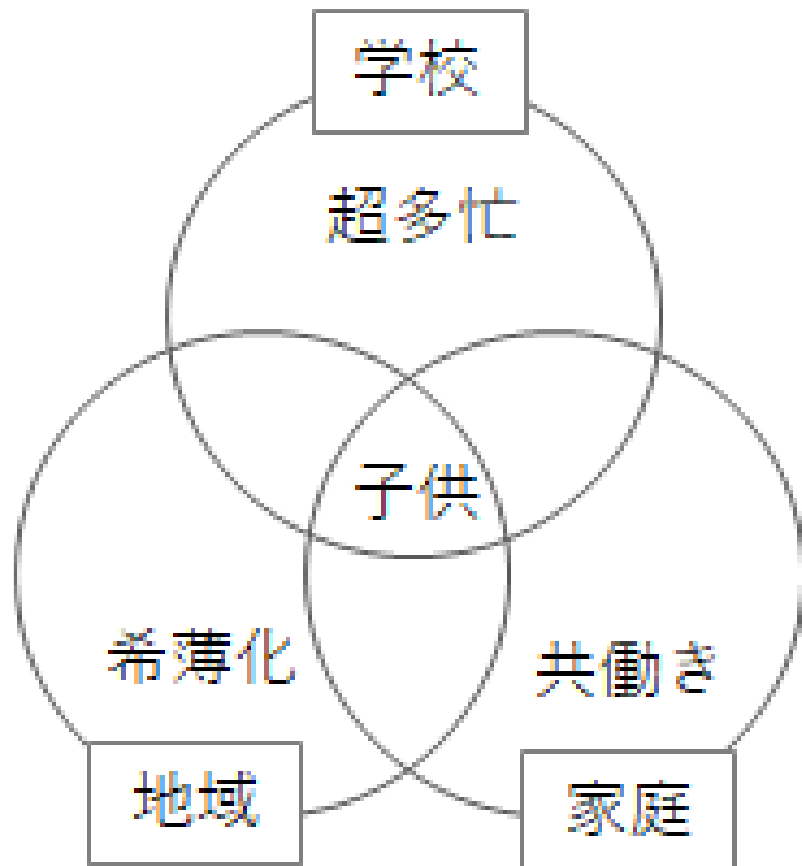


参加10大メリットを言い続ける
面白い企画をドンドン始める
おやじの会や父親を巻き込む
地域の力を借りる
楽しんでいる姿・感動場面を見せる
会報誌を雑誌風に(堅苦しい文章は不要)

「決める」ことを習慣化(先送りを減らす)
意義の低いことをドンドン止める
稟議制度(お金の使い方ルール)導入
会議を、平日と週末、昼と夜に分散
情報共有や伝達の仕組み導入
講座や区(市)Pへの役員動員を止める
ミスや失敗OK、形式的なことを減らす

PTA参加の10大メリット

- ① 知人・友人が増える（地域に仲間がいっぱい、還暦後も楽しみ）
- ② 視野が広がる（職場や家庭ばかりだと狭い視野になってしまう）
- ③ 居場所が増える（サードプレイスは人生を豊かにする）
- ④ 職場での仕事能力が高まる（多様性を身に付けるなど）
- ⑤ 教職員と親交を深められる（相談し易い、情報量も増える）
- ⑥ 学校教育に参画できる（主にキャリア教育や体験型など）
- ⑦ 学校に行ける（特に男性は学校の敷居が高いので）
- ⑧ 我が子との距離が縮まる（子どもへの理解が深まるから）
- ⑨ 子育て・子ども教育の幅が広がる（多くの事例を見聞できる）
- ⑩ そして、ともかく楽しい（サークル的なノリだった）



学校; 超多忙、何でも学校に「丸投げ」
家庭; 共働き、父親の子育て短時間
地域; コミュニティ弱体化

このような中、次の役割を担う組織として「コミュニティ・スクール」を創設

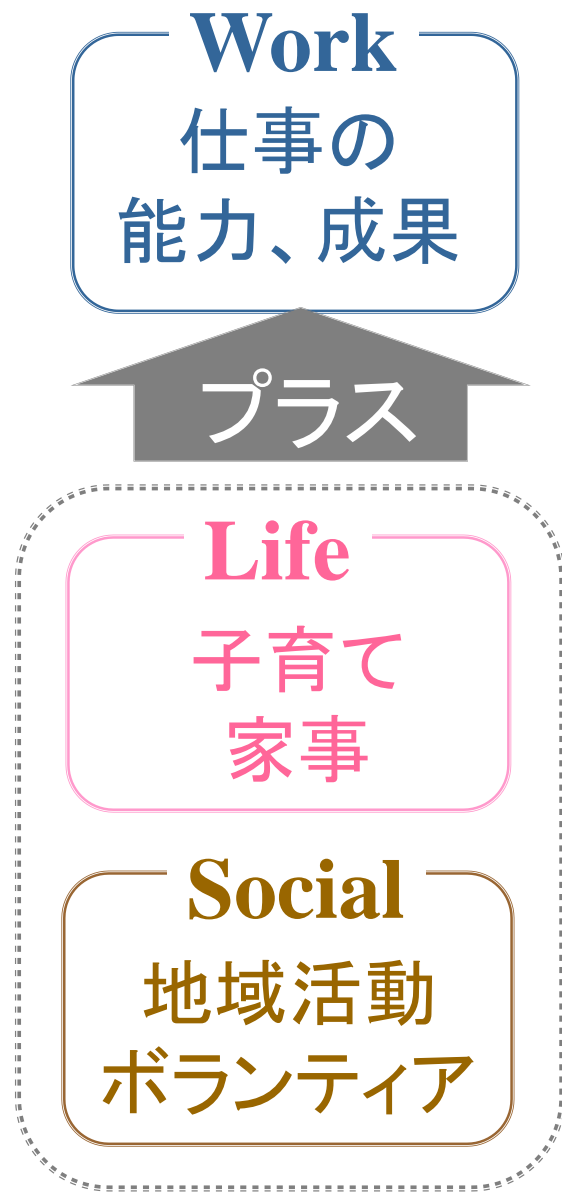
- ・学校や家庭の「支援者」
- ・学校、家庭、地域の「つなぎ役」
- ・子供にとっての「斜めの関係」
- ・子供を犯罪から守る「第三の公共」

そして、保護者が「参画したい & できる」環境作り

「参画すると仕事の能力も高まるよ」
ということを、保護者にしっかり説明する

保護者(=部下)が、「活動に参画できる職場」
にするために、管理職の意識を変える

活動を通じて、仕事の能力も高まる



視野や人脈が広がる、生活者視点を
感性が磨かれる、アイデア創出人になる

マネジメント能力やコミュ能力が高まる
社会課題が見える、肩書き無しの実力を知る

笑顔が増える、健康になる、精神が安定
働く意欲が高まる、踏ん張りがきく

私が、経営者や管理職時代の経験を元に、イクボスの定義と10ヶ条を世に出したところ、日本中に広がった。

イクボスとは、以下を満たしている上司や経営者

- ① 部下の私生活と仕事の両方を応援
- ② 自ら、ワーク・ライフ・ソーシャルを満喫
- ③ 組織の目標(利益等)達成に強い責任感

神奈川県黒岩知事「イクボス動画」とイクボス宣言
横浜市・川崎市など数百の自治体がイクボス宣言
イクボス企業同盟への加盟企業は、2千社以上